



会長 紺野 広 青少年奉仕 夏川戸 齊
副会長 橋本 昭一 幹事 松本 剛典
クラブ奉仕 橋本 昭一 会計 妻神 和憲
会長エレクト 橋本八右衛門 会場監督 佐々木泰宏
職業奉仕 道尻 誠助 直前会長 小林 幹夫
社会奉仕 岡崎 孝文 副幹事 小田山紀暢
国際奉仕 鶴飼 寿栄 会計補佐 小井田和哉

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 峯 正一 同副委員長 上村 奉樹
同委員 妻神 和憲 同委員 野村 一雄

国際ロータリーのテーマ — 2023~24 — 八戸ロータリークラブのテーマ
世界に希望を生み出そう 和而不同 (わじふどう)

国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー

八戸ロータリークラブ会長 紺野 広

3月は水と衛生月間です

第3306回例会 2024.3.13

会長要件 紺野 広 会長



2023-24年度、下半期の目標は、以前にも御話し申し上げて居りましたが、2点に絞って居ります。

1つ目は、八戸市と当八戸ロータリークラブとの災害協定を、実際の災害時に役立つ物とする為の活動を行う事です。まず、当クラブ会員所属各企業の災害時の取り組みを、年度内に出来るだけ知る。そして、八戸市の危機管理部下村晃一次長から卓話を戴き、市の考えを知る。其の上で、当クラブとしての、実災害時の活動を考えて行く事です。これは、当年度のみで無く、締結が破棄され無い限り、検討を加えて行く事が、クラブの責務と成りました。次年度以降も、何卒宜しく御願い致します。私自身、会長職を離れても、引き続き主体的に携わって参りたいと考えて居ります。

2つ目は、当年度終了時の当クラブ会員数70名です。会員増強に関しては「数字を求めるのでは無く、良い方に絞って御誘いしよう。」という御考えの方もいらっしゃいます。

ですので、ゆっくりと、吟味しながら御誘いする方針に致しますと、年度内達成の目標としては、70名が適正な数ではないかと考えて居ります。現在、入会希望の方が、二人いらっしゃいます。新会員入会に際しては、本来は理事会での審議を経た後に、全会員に対し周知し、1週間の異議申し立ての期間を設けるのが、通常の手順と成ります。

しかし、御一方は、転勤して来られる方で誰も会った事が御座居ません。法人会員としての入会を希望されて居りますので、会社を信用するかどうか判断基準と成ります。入会希望者は、明治安田の次期八戸支社長佐藤恒寛さんです。現在の齋藤支社長は、前任者が入って居た事を踏襲し、今現在、ライオンズクラブに入会なさって居られます。其の事は承知の上で、東京海上日動火災の永澤信会員にセッティングして戴き、齋藤現支社長とは何度か御話しをし、ロータリーを御紹介して居りました処、齋藤現支社長が3月一杯で大阪に転勤なさる事も有り、次の佐藤支社長からは八戸ロータリークラブへの入会を、と言う事で、齋藤現支社長が本社の裁可を取り付けて下さいました。齋藤現支社長が所属し

て居るライオンズクラブには、他に、八戸支社の営業から複数名が入会されて居る事も有り、複数の奉仕団体に、分かれて入会する業務上のメリットも考えて居られたとの事でした。支社長の所属替えに関しても所属ライオンズクラブから了承が取れたそうで有ります。佐藤新支社長には、誰も会って居りませんので其の御人柄は分かりかねますが、今迄支社長クラスの転勤族の方で変な方に御会いた経験が御座居ません。齋藤現支社長、そして、明治安田を信じると言う事で大丈夫では無いかと考え、理事会前では有りますが、入会申請に至る迄の経過を御報告させて頂きました。明治安田は三菱系企業が構成主体の青森菱友会に入居るようで、青森三菱電機の夏川戸齊先輩が八戸の菱友会を統括されて居りますので、スポンサーを御願い致しました。永澤信会員と共にサポートして下さいと思えます。尚、此の案件は、本日の理事会に掛けて、承認されましたら、通常通りの手順に則り、皆様にFAXなりメールなりで周知し、異議が出され無ければ、4月からの入会と成ります。

もう一方は、八戸北ロータリークラブの浅石紘爾弁護士の娘婿さんで小野恭（たかし）弁護士です。以前は、職業分類一業種、一人の入会に限られて居りましたので、熊谷清一先生にだけは御話し致しました処、真面目な御人柄の方だと、賛意を表されました。小野さん、年度末の3月、年度始めの4月は御忙しいとの事でしたので、次回4月の理事会に掛け、周知の手続きを終えましたなら、5月から御参会戴きたいと考えて居ります。

今迄の話して、御異議の有る方は忌憚無くおっしゃって下さい。当クラブは全会一致を基本として、今迄色々な事を決めて、物事を進めて参りましたので、御理解が得られる様、説明責任を果たして参ります。兩名の御承認が得られた場合、会員数は66名となり、目標迄、後4名と成ります。候補者がいらっしやいましたら是非御知らせ下さい。勧誘に伺わせて戴きます。当年度の会員数の目標は70名です。何卒宜しく御願い致します。

幹事報告 松本 剛典 幹事



○3月20日(水)の例会は、春分の日で休会になります。
○再来週3月27日(水)の例会の会場は八戸グランドホテルです。

委員会報告

親睦・会場委員会 増田 敏親睦会場委員



○ニコニコボックスの報告
・誕生祝 紺野 広さん
・奥様誕生祝 寺下一之さん 石橋信雄さん
早く春になって八戸カントリークラブでゴルフがしたいですね。

道尻誠助さん 春よ、はやくきてね!!

山村和芳・山田慶次・熊谷清一 } ニコニコ
中村稔彦・浜谷英幸・増田 敏 } デー
正部家淳司・夏川戸 齊さん }

ローターアクト担当例会 正部家光彦委員長



今、ローターアクト会員がおりませんので休会、会員が入ったら再度歩み出しましょうということ。これまで何をしたかという報告をして、

今後何をするかというお話をします。

八戸ローターアクトクラブは現在会員がおりませんので、その話は手短かにします。

お手元のローターアクトクラブのちらしは「八戸工業大学の学生の皆さんへ」という裏表のパンフレットです。9月7日にこのちらしをもって工業大学を訪れ坂本学長にお目にかかり、八戸工業大学の学生の皆さんへローターアクトクラブ会員の募集をしたいというお話をしました。そうしたところ、趣旨にたいへん賛同していただき、教授会で各学部長に呼びかけます、そして各学部長にちらしも配信して、学部長から各先生方にということでした。大学生は既存の学問も大事だけれど、

こういうことこそ大事だということでしたので、すぐに反響があるかと思っていましたが、まったく反応なしでした。

そこで次の手を変え、年明け1月9日にランチタイムに紛れてピラ配りをしてきました。工業大学の大学側の担当の石毛先生の60枚ほどのちらしをもって行ってきました。皆さん快く受け取ってくれ、説明もしてきましたが、なかなか反響はありません。

なぜかと考えたときに、これが吸引力のあるちらしであると思いますが、なかなか反響がありませんので、具体的なイベントのボランティアを、数か月前にこういうことをしますからと、ボランティアとして呼びかけたらどうか。各委員会などでそういうことがあればお知らせいただければ、工業大学に行ってみたいと思います。また、4月の入学の時期にももう一度行って、新入生に案内していきたいと思っています。

紺野会長からは工業大学だけではなく八戸学院大学もあるじゃないかということもありますので、4月以降、八戸学院大学は工業大学とは違った学部もあり、女子学生も多いようですので、該当者があるのかなと思っています。

実際のところ、八戸でローターアクトクラブは他のロータークラブでサポートしているクラブはありませんので、ローターアクトクラブは八戸では今のところ実質ゼロです。青森、弘前、五所川原、むつには大学のクラブも含めて活動していますので、何とか活動を再開したいと思っています。

皆さまにお願いがあります。このちらしの「八戸工業大学の学生の皆さんへ」という部分を、4、5年前までは社会人のローターアクトクラブがありましたので、ここを変えれば社会人にもご案内できます。事業者、会社などありましたら声をかけていただければ、ちらしを差し上げたいと思っています。4、5年前は小菊荘での学習指導をローターアクトクラブと一緒にやっていて、そういういい時代をわたしは知っていますので、若い世代に良いことをしよう、社会奉仕をしようとい

うことで何とかしたいと思っています。以上、中間報告でした。

次に13年前の東日本大震災の時の話をしたいと思っています。指定避難所の校長でしたので、3.11その時の様子をお話したいと思います。その時、わたしは小中野中の校長をしていました。皆さんの中で実際に避難所に避難した方は何人くらいいらっしゃいますか？ いらっしゃいませんか？ わたしは避難者としてではなく、避難所の運営を経験しました。避難所の運営は市役所の担当者が遅れてきます。それぞれの地区の自主防災会の民生委員、町内会長などもやりますが、わたしが勤務していた小中野中は指定避難所でしたので、避難所の設営という点では2日間そこに寝泊まりして、そこにいました。

3月11日14時46分、長い、変な揺れをしていたのを覚えています。3月11日は中学校では卒業式を終えて、1、2年生だけで授業をしていました。掃除の時間で校長室にいましたが、掃除をしていた子たちと一緒に長い揺れが収まったのを確認して、グラウンドに避難させました。そこからは停電になり、これはただごとではないということで、避難した生徒を校舎の中に入れました。これは帰すことができませんので、グラウンドに留めておいて親と引き渡しになります。

小中野中学校の位置は、男山の八戸酒造のある湊橋の向こうは館鼻、新井田川の中心街寄りが小中野地区です。避難警報、大津波警報が出たということで、地区住民は津波に対しては過去にも被害がありますので、どんどん避難してきたわけです。夜までに1,200人避難してきました。校庭の車、体育館内を含めて1,200人です。

物資の配布ということで、1,200人避難しているという情報を流したところ、自衛隊から食糧が1,200人分着て、天井までたくさんトレイが積み重なりました。駅弁、水、お茶などどんどんいろんな物資が配布になりました。ずっと停電状態が続いていましたので、それを先生方で手分けをして、ハンドマイクを使ったりして呼びかけたり、配布したりし

ました。

物資の中で一番驚いたのは「焼きそばバゴーン」が箱で10箱きました。それはお湯が必要です。ちょうど東日本大震災のときは水道と都市ガスは来ていました。小中野中学校の地区でも水道と都市ガスが来ていましたのでお湯を沸かしました。1個当たり300CCのお湯が必要です。お湯を切って、食べる状態にしておきましょうと3時間にわたってお湯を沸かして、お湯を切ってということをしていました。

トイレの問題ですが、1,200人が次から次へとトイレを使いましたので、30分置きに親と一緒に避難してきた生徒たちに手伝ってもらって掃除をしました。幸いなことにトイレも使えました。水をタンクに入れて流すことができたのでラッキーでした。が、とにかく汚れますので掃除。

明かりは、夜になるととにかく真っ暗で、一日目は800人いた体育館にはダルマストーブ10台の明かりだけしかありませんでした。トイレに行くにも廊下の明かりもないので、たまたま葬儀店にロウソクがあるというので、25cmのロウソクを大量にいただいて、それを2つに折って、給食の食器に釘を打ちつけてそこにロウソクを立てて、廊下やポイントに置きました。

ペットの問題もありました。避難するときに一緒に犬や猫を連れて来た人がいましたが、猫が走り回ったりして何とかしてくれという苦情がありました。とにかく相談して、マットの入っている用具室にペットのケージを用意してもらい、そこに入れました。

報道ですが、一番びっくりしたのは、イギリスの新聞社、ドイツ、シンガポール、NHKなどいろいろな報道が小中野中学校に来ました。どうしてかと思ったら、とにかく岩手、宮城、福島はダメで、東京から三沢に飛行機で来て、三沢で避難者が一番多い避難所はどこかと聞いたときに、小中野中学校に避難者1,200人いるそうですということで、外国からの取材を受けました。後でイギリスの方からメールをいただきました。わたしは

取材を受けたときに「大変な状況ではあるけれども、争いごとも、物を配給するときもきちんとして、混乱もない状況で避難所が運営されている。わたしは日本の皆さんのことをひじょうに誇りに思っています。」ということインタビューで答えましたら、そのことが取り上げられていました。

今、その中学生たちも20代後半になっていますが、やはり朝の掃除、トイレ掃除も自分の身の安心ということが分かれば助けになり、ひじょうに頼もしく思いました。共助公助。そこにいる人たちにも世話になったかと思っています。

今は柏崎公民館に勤務しています。そこで自主防災会事務局長ということで防災訓練、備蓄など様々なことをやっています。そこでも13年前の記憶も出せているのかなと思っています。いざとなればみんな動いてくれるし、わがままなど一切なくて。1,200人いた避難者が2日目には800人、3日目には350人になり、最後2人になったときにはこの方々は場所をきれいに清めて帰ってくれました。

ロータリーの友委員会 小田山紀暢委員長



ロータリーの友3月号のご紹介です。3月は水と衛生月間です。世界のトイレの状況に対してのロータリークラブの支援について特集記事が組

まれています。また、水の件で福島原発の処理水の話も載っています。

3月号にもロータ君は「地区マスコットロータ君」として、築館ガバナーとロータ君の記事が載っています。1月年明けからロータ君の露出が多くなってきています。ロータリーの友自体も80,000部の発行部数ですので、80,000人以上のロータリアンの方たちにも顔が売れて来たのではと思います。道尻さんは柳壇の天、12月号から連続で掲載されています。

特集記事「トイレーその先へ ロータリー活動からみる世界の排泄環境」ロータリークラブ初の奉仕活動はアメリカシカゴ市への公

衆トイレの寄贈だったことはご存じですか？日本のロータリークラブもニーズのある国や地域にトイレを設置し、衛生問題の改善に貢献しています。

日本全国の各ロータリーの方々が世界各国で支援をしている事例を紹介しています。インドでは普及率自体は元々40%弱だったものが、国策で農村部において1億器以上のトイレを国が作った。それで普及率が一気に100%に向上したが、せっかく建てても使われない。実際に使われているのは人口の46%で、普及率は100でも半分以下しか使われていない。それはどうしてかと調査をしたところ、使う方たちが汲み取り費用の負担など費用的なところをすごく気にしている。実際にはそんなにかからないそうですが、住民の方たちは気にしてなかなか使われない、というのが課題の一つだそうです。

もう一つはトイレを使っているのになぜか水質汚染がある。今までトイレを川などでしていたものがトイレを使うようになったらふつうは水質が改善されるものですが、なぜか水質が汚染されている地域がある。それも調査をしたところ、汲み取りをしたあとのものを処理する施設がないそうで、せっかく汲み取ったものをまた川に流している。国として下水処理場が絶対的に不足しているので、

ロータリーの方々に建設後の利用促進に合わせて小規模でもいいのでし尿処理施設建設をすすめていただきたい。

タイの活動。普及率自体は25~50%くらいですが、小学校のトイレをきれいなトイレに改修する活動をした。カンボジアもだいたい衛生的できれいなトイレになりました。地区補助金を活用して小学校にトイレを建てた。コンクリートの足場を作ってトイレを作る事業をした。アフリカでも普及率0~25%だったものをきちんとしたトイレを作ろうということで循環型トイレを作った。トイレを汲み取ったものをたい肥にして畑で使う。フィリピンの普及率は50~75%でトイレはあっても男女共用でプライバシーもない。学校に関しても教室数に対して圧倒的にトイレの数が足りないので、実際に子どもたちは屋外の茂みで用を足している。教室の一角にトイレがある状況なので、男女別で衛生的なトイレを作る支援をしている。世界各国トイレはさまざま、今の時代にこういったトイレの使用を余儀なくされている子どもたちを支援していくのもロータリーの使命なのかと感じました。

アルプス処理水は海洋に放出する処理水ですが、その安全性について経産省の方がお話をしている記事もお読みください。

出 席 報 告						出席委員会																	
第3306回例会（3月13日）				第3304回例会（2月28日）																			
出席率		61.3%		出席率		49.2%		修正出席率		55.6%													
総会員数		64名		出席数		38名		総会員数		64名		メイクアップした人数		4名									
出席義務会員		62名		出席免除会員		2名		欠席数		24名		出席義務会員		63名		出席免除会員		1名		欠席数		28名	